



75 YEARS

大阪大学豊中キャンパス
南部陽一郎ホール
2024年5月20日(月) 13時開会

大阪大学理学部 生物学教室75周年記念の会





大阪大学理学部

大阪大学豊中キャンパス 南部陽一郎ホール

生物学教室75周年記念の会

2024年5月20日(月)

13:00 - 13:10 開会挨拶 理学研究科 生物科学専攻長 志賀 向子

13:10 - 13:50 「私の阪大での日々の思い出 - Unity and Diversity -」
大阪大学 名誉教授 金澤 浩 先生

13:50 - 14:05 「膜のないオルガネラを特徴づける「柔軟性」を規定する分子機構の解析」
理学研究科 生物科学専攻 博士後期課程2年(廣瀬研究室) 上野 剛志 さん

14:05 - 14:20 「ショウジョウバエI型ミオシンが細胞・個体キラリティを決定する分子機構の研究」
理学研究科 生物科学専攻 博士後期課程3年(松野研究室) 山口 明日香 さん

14:20 - 15:00 「核と餅」
信州大学 理学部 助教 坂本 勇貴 先生

15:00 - 15:10 休憩

15:10 - 15:50 「研究室配属からのオプシン研究：動物光受容の分子生理学と光遺伝学」
大阪公立大学 大学院理学研究科 生物学専攻 教授(理学研究科長) 寺北 明久 先生

15:50 - 16:30 「私の核 - 細胞質間輸送研究」
滋慶医療科学大学 大学院医療管理理学研究科 教授 今本 尚子 先生

16:45 - 17:25 「DNA複製に魅せられて」
国立遺伝学研究所 特命教授 荒木 弘之 先生

18:00 - 20:00 懇親会

生物学教室 設立から現在まで

大阪大学における生命科学の教育・研究の歴史は、理学部生物学教室が設立された事に始まります。新制大学発足を機に、化学や物理学との境界領域に発展しつつあった新しい生物科学の教育と研究の場を作る事を目的として、生物学教室は設立されました。

1949年5月
理学部生物学教室の設立

1953年
大学院に生物化学、生理学専攻が設立

1956年
蛋白質研究所が理学部付属施設としてスタート

1958年
蛋白質研究所が全国共同利用研究機関として発足
多くの研究グループが生物科学専攻の基幹講座として参加

1996年
理学研究科生物科学専攻が発足大学院重点化を機に、
生物化学と生理学専攻を統合し、旧理学部生物学科教官
(旧教養部生物学教室教官を含む)と、付置研究所教官
とからなる新しい専攻として再編成
また新たに連携併任講座を設置して、民間研究所や国立研究
機関の協力を得ることで、地域に根ざした大学院として活動

2006年
生物科学科に生物科学と生命理学の2コースを創設
定員を55名に増加

2024年5月
75周年記念



お申込みはこちらから →



75 YEARS